

思春期女子の人間関係の悩みの行方

発表者 末武佳奈

指導教員 中間玲子

【問題と目的】

思春期とは、身体的・心理的に大きな変化の起こる時期であり、その急激な変化に伴って、自分自身と対峙し、様々な困難にぶつかってゆく時期であるとされている。そういった悩みに自分1人で格闘する場合もあれば、他者に相談する場合もあると言える。特に、他者に頼る場合、思春期は親から友人へと重要な他者が移行していく。友人との関わりの中で、榎本（1999）は、児童期から青年期にかけての仲間関係が、ギャング・グループ、チャム・グループ、ピア・グループと発達していくと提唱しており、友人関係を求めると仲間関係に属している状態も強く求められると言える。仲間意識を持つことで、1人にならないかといった不安な時期を過ごしているなど友人関係を通して悩みを抱えている場合もある。こうした友人関係などの悩みを抱えた際に、「悩みを他者に相談する」という相談行動は、援助要請として捉えられることが多く、問題解決がセットであった。しかし、思春期の悩みは、必ずしも問題解決を求めて相談を行うのではないと考える。では、思春期は悩みを抱えた際、誰に相談をするのか、もしくは1人で抱え込むのか等、個人によって経験してきたことに違いがあるからこそ、実際にどのような悩みに直面し、過ごしてきたのかを具体的に知る必要がある。本研究では、思春期時代の相談相手に一番に挙げられる友人との人間関係を中心に、閉鎖的活動を踏まえる女子を対象として、大学生に思春期に起きた問題とどのように向き合い、どういう行動をしてきたのかを知り、具体化されていない思春期女子の人間関係について明らかにする。

【論文の構成】

はじめに

第1章 問題と目的 第1節 問題の背景／第2節 本研究の目的について

第2章 調査 第1節 対象／第2節 実施状況／第3節 質問内容／第4節 インタビュー情報の整理

第3章 結果 第1節 分析の指針／第2節 結果／第3節 3人の結果を踏まえて

第4章 考察 第1節 思春期女子の人間関係の悩みについて／第2節 思春期女子と関わるときに

おわりに

引用文献

【方法】

対象：女子大学生3人

調査時期：2023年11月

インタビュー方法と時間：筆者の部屋で、対面で実施。インタビューは1時間前後有した。

質問内容：

1. 学生時代はどのような環境で過ごしていたか
2. 人と関わるときに自分の言動に注意して過ごしていたのか、周りにどう思われているのかを意識して、自分の言いたいことが言えなかったのか
3. 人間関係のトラブルにあった時、どのように対処していたか、またこうしておけばよかったと思うことはあるか、どの程度の深刻さだったのか
4. 他者に求めていることはあったのか
5. 友だちとは何か

分析の指針：インタビューした3人の内容を小学校、中学校、高校、思春期時代の人間関係を通して、の4つの項目に分けた。なお、小学校、中学校、高校は質問項目に沿って分析を行い。思春期時代の人間関係を通しての項目では、これまでのインタビューを振り返るとともに、大学生にもつながっていることはあるのかをまとめた。

【結果と考察】

3人の結果を踏まえて、3人とも悩みに直面したときには、人に話す行動をしていることが分かった。そして、相談できない場合も自分が人にどう思われるかを気にして言えないのではなく、自分が相手に言うことで相手が嫌な思いをするのではないかという、相手を思いやる場面も思春期には現れると言える。

また、3人の共通している部分として、グループの存在が大きい。思春期女子においてグループでいることは、学校生活が過ごしやすくなるとともに、誰かとつながっている安心感が生まれているのではないかと考える。しかし、グループに属しているからといって、安心して過ごせているとは限らない。それも、グループを抜けてしまったら居場所がなくなり、嫌い同士でもグループとなって過ごすこともあるからである。このことから、1人になることの恐れを感じる。

今回は、大学生になってからの振り返りも踏まえたため、小学校からの経験が大学生にもつながっていることが分かった。これから教壇に立つ身として、考えたことは、悩みを抱えたとしても教師に相談するとは限らないことと、クラスの雰囲気によって友人との関わり方も変わるのではないかということである。教師に相談しないのは、相談することによって大事になることを危惧しているからである。そのため、教師は思春期女子が解決を求めているのか、現状について知ってほしいのか、話を聞いて欲しいのに他に話す人がいなくて話しているのかなど、どんな意図で教師に相談しているのかを見極める必要がある。人間関係以外に悩みを抱える思春期女子の関わり方を今後の参考にしたい。

【主要参考文献】

榎本淳子 1999 青年期における友人との活動と友人に対する感情の発達的变化 教育心理学研究／永井智 2017 中学生における友人との相談行動 援助要請研究の視点から ナカニシヤ出版／永井智・鈴木真吾 2018 大学生の援助要請意図に関する利益とコストの予期の影響 教育心理学研究